

会 議 録

会 議 名	(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設実施設計 第4回市民検討委員会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成23年10月27日(木) 午後7時から午後9時10分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	渡辺委員長 浅野副委員長 福島委員 多田委員 伊藤委員 桂委員 平井委員 雫委員 三島委員 中村委員 松尾委員 藤井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	天野生涯学習部長 大関公民館長 田中図書館長 杉村図書館 主査 池田建築営繕課副主査 黒田建築営繕課主事 山崎庶務係長 渡辺事業係長 樋口庶務係主任		
事 業 者	株式会社 前川建築設計事務所 橋本、田中、畑野 株式会社 ユニ設備 嘉部(電気設備)、鳶田(機械設備)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	1名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 設備計画について</p> <p>(1) 電気設備(照明、コンセント設備他)について</p> <p>(2) 機械設備(空調・換気、給排水衛生設備)について</p> <p>(3) 昇降機設備について</p> <p>2 外構計画(緑化計画、施設管理他)について</p> <p>3 その他(ガラス建具、飲食コーナー他) 前回の質問事項等について</p> <p>4 次回の開催日程について</p> <p>5 配付資料</p> <p>(1) 「本町・貫井北町地域に読書の楽しさを紹介する会」 からの要望 …実施設計検討委員会資料 17</p> <p>(2) 照明設備 各階平面図 …実施設計検討委員会資料 18</p> <p>(3) コンセント設備 各階平面図 …実施設計検討委員会資料 19</p> <p>(4) 音響・映像・事務所廻り機器図…実施設計検討委員会資料 20</p> <p>(5) 空調調和換気設備 各階平面図…実施設計検討委員会資料 21</p> <p>(6) 給湯設備 各階平面図 …実施設計検討委員会資料 22</p> <p>(7) 衛生器具一覧表(案) …実施設計検討委員会資料 23</p> <p>(8) 外構平面図・断面図・立面図 …実施設計検討委員会資料 24</p> <p>(9) 各階平面図 …実施設計検討委員会資料 25</p>		

会 議 結 果

大関公民館長 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設実施設計における第4回目の市民検討委員会を開催する。

会議開始にあたって

大関公民館長 配布資料の確認と会議録のご承認をお願いしたい。事前に前回の会議録をお送りしている。

本日配布しているのは資料17から資料25までで、資料17は「本町・貫井北町地域に読書の楽しさを紹介する会からの要望」で、資料18からは設備図面等となっている。最後に松尾委員からご提出いただいた新聞記事の写しをつけているので確認をお願いしたい。

一 配布資料の確認

大関公民館長 続いて、前回会議録の承認をお願いしたい。

松尾委員 前回欠席したが、会議録を読んで四点ほど感じたことがあるので、手短にお話ししたい。会議の争点の一つは事務室内にあるボランティア作業室の取扱いについてで、私はこのスペースが図面におとすというところが重要であると考えていて、その後は図書館がどのように運用するかという問題になると思う。住民の方と図書館で十分議論していただいて、望ましい方向にもっていただければと感じた。もう一つの争点は蔵書冊数のことだが、1万冊減って合計で5万5千冊になっているが、これは理論値であって、実際にはこの値の1割増しから2割増しくらいになるのではないかと思う。児童図書も1万5千冊とあるが、その1割増しで1万6千5百冊となり、更に閉架書庫の5千冊のうちの2千冊くらいを児童図書とすると1万9千冊くらいになる。3年或いは5年くらいすると本が増えてくるので、実際には2万冊くらいにはなってくると思う。三点目が重要なことで、図面を見るとカウンターと事務室の間にドアがあるが、幅が80センチくらいしかない。ダブルのブックトラックに大型本や絵本を載せると通れない場合があるので、扉をなくすか、或いは開き戸ではなくて引き戸にして、巾も1.2メートルくらいあった方がよいと思う。職員の方々の仕事のしやすさを考えると、ドアがないか或いは広くしていただいた方がよいと思うので是非ご検討いただきたい。最後にヤングアダルトコーナーについて、3連の書架があるが、それでは少ないのでもう3連増やして6連くらいにしていればと感じた。以上四点である。

大関公民館長 会議録を読まれてのご意見ということなので、会議録自体はご承認いただけるということで宜しいか。

一 承認 一

渡辺委員長 皆さん、こんばんは。

本日もお手元の次第に従って進めていくが、先程の松尾委員からあった三つ目の件に関して、カウンターと事務室の間に扉があることは気になった。これについては設計事務所側の意図があるのか、或いは図書館側からの指示なのか。

田中図書館長 お話しにあった80センチというのも、職員に聞くと十分ではないかという話ではあるが、ご指摘いただいたので引き戸にするか或いは巾を広げるようなことで検討していきたい。

渡辺委員長 この指摘については実際そうになっていた方がよいと思う。我々も小さな図書館を設計した際に同じ問題が起きているので、是非ご検討していただきたいと思う。

1. 設備計画について

前川・田中 今回の設備計画については、技術的な配線や幹線のルートといった専門的な話ではなく、スイッチがどこでオンオフ出来るかといったような、利用者の方にとっての使い勝手を中心に説明する。

(1) 電気設備について

ア 照明設備について

—資料 18 及び映像による説明—

(資料 18：照明器具配置 1 階平面図)

- ・図は、天井に設置する照明器具の位置を示している。
- ・主な器具は、長方形記号の蛍光灯と、円形記号のダウンライト
- ・LED 電球の採用については、実施設計時においてダウンライト型の照明のみ
- ・図書館：開架書架間は蛍光灯（一灯用）
事務室は蛍光灯（二灯用）、
他はダウンライト型
- ・開架室の照度は500ルクスを確保する
※検討委員会で使用している801会議室も全灯で500ルクス
- ・共用部の照明点滅操作は、カウンター脇より行う（お話し室は個別対応、調光式）
- ・各照明エリアの点滅を2系統に分ける（メンテ作業時の節電）
- ・共用部（ロビー、階段、飲食コーナー、トイレ）はダウンライト型
- ・トイレは人感センサーによる自動点滅

渡辺委員長 まず図書館部分について説明していただいたが質問等はないか。蛍光灯とダウンライトを使われているが、両方とも500ルクスなのか。

ユニ設備・嘉部 蛍光灯だけで照度は確保できるが、書架の部分のダウンライトは暗がりがないように補足的な照明で考えている。

渡辺委員長 ブラウジングの部分のダウンライトもそうなのか。

ユニ設備・嘉部 その部分はダウンライトで照度を確保する。

平井委員 他の図書館を見学した際に、窓際の席はわりとよい照明がついていたのだが、ここはダウンライトだけで十分なのか。

ユニ設備・嘉部 図面で示しているのはベース照明といって全体的な照明についてなので、カウンター部分が暗がりになるようであれば、それを補うようにダウンライトを追加するか意匠的な器具を追加するように考える。

渡辺委員長 図書室では一般照明だけではなく、こういった部分の照明も非常

ユニ設備・嘉部 渡辺委員長	<p>に大事であるので、補足と言われると抵抗がある。 デスクライトも検討している。</p>
前川・田中	<p>デスクライトもZライトのようなものから色々ある。最近はどこも気を遣って素敵なデスクライトを使用しているところが多い。</p>
渡辺委員長	<p>天井からにするかデスク式にするかについては図書館と協議中である。</p>
	<p>そうであれば最初にそれを言っていたきたい話で、図書館の照明がこの会議室と同じというのは如何なものかと思う。皆さんがこうやって議論しているのも、普通の部屋と違う光の質をつくってほしいからだと思っている。</p>
	<p>もう一つ気になるのが、将来書棚の配置変えは一切ないのか。蛍光灯とダウンライトで完全に区分しているの、このレイアウトを前提としてしまっているが、場合によっては書棚の位置を変えとか以前話が出ていたように思うが。</p>
前川・田中	<p>基本的に書架が並んでいる部分については1.8メートルピッチを変えることはない。</p>
渡辺委員長	<p>書棚ではないキャレルの部分や一番奥の窓際のところもすべて蛍光灯になっているのが気になる。書棚の間を効率的に照らすというのは分かるが、他の今言った部分も一義的にやってしまうのは如何なものか。もしも、そのようにするなら全体的にダウンライトにしておいて、電球を替えることで明るくしたり色々出来るのであればそうしていただいた方が将来的に色々な対応が出来るのではないか。</p>
前川・田中	<p>ベース照明で500ルクスを確保して、更に必要であれば天井に追加したりデスク照明にしたりすることは、現在検討中である。</p>
渡辺委員長	<p>この会議に出てくるときには、基本的に市民の皆さんに承認していただきたいので、まずたたき台を出して皆さんの意見を聞き、場合によっては全部やり直すというのであれば構わないが。</p>
ユニ設備・嘉部	<p>全部ダウンライトにすることも可能なのか。</p>
渡辺委員長	<p>すべてダウンライトにすると照度を確保するのが難しくなる。</p>
	<p>蛍光灯の方が照度を確保する意味では有効である。</p>
	<p>それは分かるが、仙台のメディアテークはすべて間接照明でやっている。このような蛍光灯は使っていない。普通のオフィスビルのような照明計画をされるのは困る。500ルクスというのは一つのガイドラインとして分かるが、先程も出ていたように窓際も、色々な場所によって光の考え方がるので工夫してほしい。</p>
	<p>事務室にこういった蛍光灯がつく分には問題ないが、閲覧室という最も重要な部分については工夫していただきたい。最近では書棚の上部に蛍光灯を仕込んだり色々なされていると思うので、この下面開放型のものが付くというのは普通の場所のように思えてならない。この会議室と同じようなものが付くというのは気になる。</p>
ユニ設備・嘉部	<p>この会議室は二灯用が付いているが、今計画しているのは細身の</p>

一灯用で考えている。

渡辺委員長

それで本当によいものなのか。

ここだけ時間をかける訳にもいかないなので、2階を先に説明していただき、皆さんにはお考えいただいてコメントがあればお願いしたい。

—資料 18 及び映像による説明—

(資料 18：照明器具配置 2階平面図)

- ・公民館：各個室は蛍光灯（二灯用）
共用部（フリースペース、廊下、トイレ）はダウンライト型
- ・共用部の照明点滅操作は、職員エリアより行う。（間引き可能）
- ・各個室の照明点滅操作は、個別対応（間引き可能）
- ・展示用壁面等は、専用の照明を配置する。（ライティングレール、スポットライト等）

渡辺委員長

照度についてはどのようにお考えになっているのか。

ユニ設備・嘉部

各個室については500ルクス、事務所は700ルクスで計画している。

渡辺委員長

フリースペースについても500ルクスで計画しているのか。

ユニ設備・嘉部

300ルクスから500ルクスで計画している。

渡辺委員長

それは可変ということなのか。

ユニ設備・嘉部

計算上では350ルクスくらいになるが、先程言った展示用のスポットライトによっても左右されることから300ルクスから500ルクスという巾を持たせた表現とした。

渡辺委員長

ここについても先程と同じように一つおきに消したりすることも出来るように計画されているのか。

ユニ設備・嘉部

そのように計画している。

前川・田中

フリースペースや廊下といった共用部については利用者が間違っ入り切りしないように事務室で操作する。但し、各部屋についてはその部屋毎に個別に操作出来るようになっていく。更にその部屋の中でも前列、中列、後列に系統を分けて必要などころだけ点灯することが出来るように計画している。

フリースペースも系統を幾つかに分けて必要などころだけ点灯することも出来るように計画している。

渡辺委員長

最低限照度を確保するばあいというのはどのようにお考えか。

ユニ設備・嘉部

例えばメンテナンスの時にほんの少しだけ点けておきたいとか、今年の夏のように節電をするよう要望された場合はどうするのか。

ユニ設備・嘉部

エリアをかなり細かく分けているが、更にそのなかで通常と掃除用の二つの設定を設けている。掃除用というのが節電対策と考えている。

渡辺委員長

掃除用とは一つおきということか。

ユニ設備・嘉部

一つおきということで、半分程度の点灯になる。

渡辺委員長

例えば1階で平均どれくらいの電力を使用して、節電モードではどれくらいになるのかを知りたい。今の時代は当然そういったことも必要である。この後出てくる空調等についても言えることで、通常使用モードと節電モードでこれだけ違って来るが、そのためには温度設定をこれくらいで我慢していただかなければならないというようなことをこの委員会で示していただきたい。

それを見ていただいた後でまた1階に戻っていただくと、書架の部分の位置が確定してしまってもよいのか、窓際や閲覧のところも蛍光灯でよいのか、正直なところ私は疑問を感じている。

先程ご指摘のあったように、デスクのところはタスクライトで明るさをとるようにして、全体的にただ明るいのではなく、メリハリをつけていただきたい。

皆さんには分かりにくいこともあろうかと思うが、何かご意見等はないか。その点についてはご検討いただいて、次回に提示していただければよい。

イ コンセント設備について

—資料 19 及び映像による説明—

(資料 19 : コンセント配置 1 階平面図)

- ・図は、壁、床に設置するコンセント類の位置を示している。
- ・主な器具は、電源コンセント（青色丸）、LAN（緑色角）、電話（赤色丸）、テレビ（紫色丸）で表記
- ・1階図書館：閲覧室において、利用者が個人的に使用可能な電源コンセントは北側窓部カウンター廻りに限定する
- ・公衆電話の設置については、市で検討中
- ・インターネットの利用や使用制限については、市の運営方針に対応する

松尾委員

北側カウンターのコンセントは3席に対して2ヶ所となっているが、口数は十分足りるのか。

ユニ設備・嘉部
前川・田中

2口のコンセントを考えているので、3人掛けであれば問題ない。図書館の利用者が自由に使える部分は北側に限定し、それ以外に館内に分散しているものはAV視聴機器や検索性機器或いは掃除等のメンテナンスに使用することで考えている。

渡辺委員長
前川・田中

LANは一般の利用者は使えないのか。

市の方針が固まり次第、それに従ってすすめる。

渡辺委員長
田中図書館長

それはいつ頃決まるのか。

閲覧室については無線LANということになった。

渡辺委員長

基本的にはこれでよいと思うが、窓際というのは西側にもあるのでそこにもコンセントをつけてよいのではないのか。

渡辺委員長

出来るだけたくさんの方に付けてあげて、市民に使い易くすることは悪いことではない。

前川・田中

一応、図書館と協議した結果ではある。

渡辺委員長	この間見学に行ったメディアテークでも多くの方が自分のパソコンを持ち込んでいたので、なるべく多く設置された方がよいのではないか。
田中図書館長	委員長からお話があったので検討したい。
松尾委員	付けておけばいざという時にも使える。
渡辺委員長	ただ、往々にして付け過ぎることがあるので心配されているのだと思う。今の時代に電源は多くあって困るものでもないのに、個人的には付けていただいた方がよいと思う。
ユニ設備・嘉部	お話しコーナーは、お子さんの感電防止策としていたずらしにくい箇所に床取出しのコンセントを考えている。
平井委員	多摩地区でしている図書館の会でヤングアダルトをどうやったら魅力的にできるだろうかという話題になったのだが、西日対策として窓を高窓にしてその下を書架や座席にすることは出来ないものか。座席にすることが出来ればそこにコンセントがあってもよいと思う。
渡辺委員長	おっしゃっているのは道路側の壁面でどこまでをガラスにして、どこまでを壁にするかということで、これについては設計事務所が検討する部分ではあるが、皆さんのとしては出来るだけ壁面をとってほしいということだと思う。
平井委員	もう少し壁面をとってほしい。
前川・橋本	デスクないということか。本棚にするということはデスクがつかないことになるが。
前川・畑野	ヤングアダルトの1コマだけで宜しいか。
平井委員	はい。その部分はこのままではほとんど本が置けない。
前川・橋本	この部分に本棚がほしいということか。
平井委員	本棚か或いは上の方が本棚で下の方に何かものが置けるような感じでもよい。うまくすればそこにたくさん人が集まるが、若者に魅力が感じられないと、来なくなってしまう恐れがあるので非常に難しい。コンセントの話から逸れてしまうが、そのあたりを検討していただきたい。
前川・橋本	検討する。
渡辺委員長	図書館としてはどうなのか。
田中図書館長	この部分は明かりとりなので書架にしてしまうとどうなのか。書架にすることで重苦しい雰囲気にならなければよいが。
渡辺委員長	ここの天井高さは3メートルか。
前川・田中	3メートルで計画している。
渡辺委員長	デスクの高さはどれくらいか。
前川・田中	一般的なテーブルと同じ高さなので75センチ程度である。窓は残して腰から下を書棚にすることは可能である。
渡辺委員長	そのあたりはデザインも絡むので検討していただいて、それでも腰から下となると90センチ程度なので3段くらいしか入らないが、ないよりはよいのか。

平井委員	多少なりともないよりはましである。
平井委員	若者を集めるには（西東京市の図書館の写真を手） こういった隅っこの方にテーブルや本が置いてある方が効果的だという話もあったので、是非検討していただきたい。
渡辺委員長	多分、図書館側と設計者の皆さんは屋外テラスが見えなくなってしまうのは都合が悪いとお考えになっていると思う。屋外テラスも皆さんのご要望から出来ているのでどちらをとるのか、屋外テラスとつながって見えるようにするにはここは全部ガラスの方がよいし、ヤングアダルトの話も分かるので、図書館と協議していただいて、どういう方針にしたかを次回の検討委員会で報告していただきたい。
桂委員	先程、公衆電話を1台置くという話があったが、災害時のことを考えると非常に大事だと思う。ただ、学芸大学で以前7台あったものが4台に減り、今では1台になってしまっている。それはNTTの都合によるもので、大学側がどんなに要望しても引き揚げられてしまったということなので、市の方で要望すれば間違いなく設置していただけるものなのか。
前川・田中	そのあたりが非常に難しいという話を聞いていて、現時点では確実に設置することが出来るとまでは申し上げられないが、災害時につながる回線を入れられるように市の方でも考えられている。
渡辺委員長	災害時のような特別な時には事務室の電話を貸し出してもよいのではないかと思う。
松尾委員	NTTで優先順位が決まっていて、回線が混み合っている時には、まず公衆電話を優先して使えるようにするという方針のようで、事務室の電話よりも公衆電話の方がつながりやすい。
—資料 19 及び映像による説明 —	
(資料 19 : コンセント配置 2 階平面図)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 階公民館 : I T ルームについては、PC 用床電源コンセントを配置 各室、フリースペースについては、必要機器用及びメンテ用コンセントを配置 	
渡辺委員長	フリースペースのところにコンセントが少ないように思うが、市民に使ってもらうにはもっとつけた方がよいのではないか。これはメンテナンス用か。
前川・田中	我々も最近できた公民館等を見学に行っているが、行く先々で私用にコンセントを使うなという張り紙を目にしたり、トラブルが多いとの話も伺っているので、極力使用出来る場所を限定しようという話を市からいただいている。
渡辺委員長	そういったモラルの話はあるとして、市民の方々がここに集まってパソコンを使ったりすることも考えられるので、その時に事務室から延長コードを引っ張ってくるのもみっともない。大学も同じで、

学生が自分の携帯を充電することがよくあるが、その電力の量はたいしたものではない。そんなことで目くじらを立てるより、市民があそこは使いやすいと言ってきてくれるような、そんな設定にしておいた方がよいと思う。これも設計事務所の方の問題でないとすると市の方で判断していただきたい。この公民館のうりはフリースペースで、浅野先生は審査員の時からこういったスペースはありそうでないんだということを強くおっしゃって、そういう提案なのでこの案を選びましょうということがあったので、このフリースペースを出来るだけ多くの市民が、色々なグループで色々な使い方を出来るような準備をしていただきたい。是非、ご検討をお願いしたい。

ウ 音響・映像・事務所廻り機器について

—資料 20 及び映像による説明—

(資料 20 音響・映像・事務所廻り機器図)

●防災関係等

・ 2階公民館事務室に、防災・設備監視盤を設置する

防災・設備監視盤では

- ・ 各階に設置した自動火災報知設備、屋内消火栓設備の受信、非常放送を行う
- ・ 車椅子用トイレや、エレベーター内の緊急呼出の受信を行う

●その他

・ 非常用照明（停電時に点灯）、誘導灯（避難方向を示す）の設置

●音響・映像機器等

・ 学習室 A・B、北町ホールについては、視聴覚利用対応として、音響・映像ワゴン（参考図）の接続が出来るようにする

渡辺委員長	音響・映像設備とはどういったものが使えるのか。
ユニ設備・嘉部	今ここで使っているようなプロジェクターやマイクといった、会議等で使われるものを想定している。
渡辺委員長	例えばDVDであるとか、市民の方々が何を使えるのか教えていただきたい。
前川・田中	学習室 A・B と北町ホールについては、現時点では予算的なこともあり導入される機器は確定していないが、こういったものが接続できますという説明をさせていただく。
ユニ設備・嘉部	CD、DVD、VHS のデッキ、映像設備、マイク設備を想定している。
渡辺委員長	通常自民の方が行って使おうと思ったら、不自由がないようにそちらで考えて下さっているということか。パソコンを持って行っても映せるということか。
ユニ設備・嘉部	可能である。
渡辺委員長	ワイヤレスマイクは何系統くらいをお考えか。
ユニ設備・嘉部	それぞれに 2 系統用意している。
渡辺委員長	2 系統以上ないということか。

ユニ設備・嘉部 操作を複雑にしないよう少なく設定している。

渡辺委員長 部屋によってはそれでもよい場合があるが、北町ホールについては会議やシンポジウム等も想定されるので、極端にコストアップにつながるのであればもっと用意した方がよいのではないか。大学でも同じようなことがあって、通常は教員に1本、学生に1本でやっているが、最近は発表する場面が非常に多くなって、2本では足りない場合がある。ここでも2系統だけでなく、もっとあれば市民の方々も発言しやすくなったりするのではないかと思うので検討していただきたい。

(2) 機械設備について

ア 空気調和換気設備について

—資料 21 及び映像による説明—

(資料 21：1階・2階平面図)

- ・前回、設備熱源の見直しにて提案した「エネルギーの安定供給を主眼に考えて、冷暖房用熱源を節電効果がある」ガス熱源のエアコン空調システムにする
- ・換気は省エネ効果のある熱回収外調機をメインとしたシステムにする
- ・窓開けによる自然換気も可能なように建築的にも配慮する

● 1階：図書館・ロビー

- ・図は、天井に設置するエアコン機器や換気口（吹出し・吸込み）の位置を示している
- ・天井面に直接見える器具は、イメージ写真による
(お話室や、エントランスロビーに記入してある機器は、天井内に隠れている)

エアコン制御は

- ・閲覧室は図書館事務室の集中リモコンより制御する
- ・エントランスロビーは公民館事務室の集中リモコンより制御する
- ・飲食は個別制御も可能（公民館事務室から制御することも可能）

● 2階：公民館

- ・フリースペース、北町ホールに記入してある機器は、天井内に隠れている。
- ・部屋の形状によって4方向に吹き出すものと、1方向に吹き出すタイプを使い分ける
- ・省エネ対策として、集中リモコンで温度設定の制御がかけられるようになっており、各室の温度を必要以上に上げ過ぎたり或いは下げ過ぎたり出来ないようになっている

エアコン制御は

- ・各個室は各室にて制御する（事務室からの制御も可能）
- ・共用部（ロビー・フリースペース・廊下）は公民館事務室の集中リモコンにて制御する

渡辺委員長 熱回収外調機について説明していただきたい。

ユニ設備・畠田 換気の場合、外気を取り入れて各部屋に送り、室内の空気を外部に

排気するが、外気をそのまま取り込むと夏場の暑い空気を直接部屋に取り込んでしまうことになるため、排気されるであろう部屋で空調された冷たい空気によって、その熱をとってあげて省エネを図るシステムである。

渡辺委員長

最近よく使われているシステムである。だが、図書室の天井に直接機器が見えるというのが気になる。天井にこういったものがあるというのは、普通の会議室のような印象で如何なものか。かえって北町ホールの方がダンスをしたり多目的に使われるので効率的に考えていただいた方がよいと思う。私は北町ホールに天井カセット型が付いてもおかしくないと思う。図書室は他の部屋よりも更に重要な部屋なので、人が本を読んだりする空間で、見上げると蛍光灯やカセット型の空調が効率的に並んでいるというのは如何なものかと思う。空間構成はだいぶ工夫していただけてよくなったが、設備計画においては機能優先の配置になってしまっているのが残念である。

前川・田中

全体的なコストパフォーマンスを考えて、このような指示をしている。

渡辺委員長

お金をかけるのであれば、これだけの場所なので図書室部分の空調、照明にかけるように指示していただきたい。

渡辺委員長

皆さんの方からご意見等はないか。
昇降機設備については特に伺わなければならない内容があるのか。皆さんがお聞きになりたいのは、普通のエレベーターよりも省エネになるのかといった話だと思うので、その点については配慮していただきたい。いまどきのエレベーターなので身障者対策もされていると思うが、それは当然のこととして、更に節電にも配慮しているというのを言っていただければよいし、もしそのあたりがなされていないのであれば、是非検討していただきたい。

前川・田中
ユニ設備・鳶田

トイレ廻りの説明と給湯設備についての説明をさせていただく。
空調設備について一点だけ補足説明すると、天井カセット型のエアコンにしている理由の一つとして、人感センサーが付いているため床面や机上面の温度をみて冷たい空気が長時間人に当たらないようにするなど快適性という点で配慮している。

渡辺委員長

飲食店などでも人に当たらないようにフィンを付けたたりしているのを見かけるが、最近のものはそうならないように配慮されているのだと思う。

ユニ設備・鳶田

そういった事がないようにセンサーのついたもので検討していた。

渡辺委員長

ただ、これが付いてよいものかどうかは、前川事務所としてももう一度検討していただきたい。

多田委員

例えば、すべてをライン状のもので統一することは出来ないのか。

渡辺委員長

それは出来るがコストが上がる。単純に金銭的な話もあるが設備システムの考え方が全く違う。私は図書室に関しては、今お話しにあったようなものの採用も是非検討していただきたい。

イ 給排水衛生設備について

—資料 22 及び映像による説明—

(資料 22：1 階・2 階平面図)

●ガス設備

- ・設備熱源の見直しにて、ガス熱源のエアコン空調システムの採用により、本施設にガスを供給することになった
- ・ガス設備の使用範囲について市と協議の結果、安全性及びエネルギーの多様化、ガス配管ルートの集約化より、2 階公民館生活室（調理室）の調理器、給湯器のみに採用する
- ・その他（給湯、陶芸窯、飲食コーナー）については電気式とする

●給湯利用エリア

- ・図面の赤色丸に示す
- ・トイレについては、2 階だれでもトイレのみに給湯あり

●トイレ廻りの設え

- ・トイレの位置は給湯図による

(資料 23：機器写真)

●男子・女子一般トイレ

- ・洋風大便器（ブースの 1 つは手摺付、ベビーチェア付）、洗面器、小便器（1 つは手摺付）、ベビーシート、手洗い、小便器は自動水洗、

●1 階車椅子用トイレ

- ・呼び出しボタンを設置

●2 階だれでもトイレ

- ・オストメイト対応、呼び出しボタンを設置
- ・ウォシュレットは、車椅子用とだれでもトイレのみ設置（一般トイレは将来対応としてコンセントのみ）

渡辺委員長

便器の選定については、高齢者の方が使いやすいとか、そういった観点から選ばれているのか。そうではないような気がするが。例えばリモコンスイッチが最近たくさん付いているが、付いている理由というのは高齢者の方や誰にでも分かりやすいということだと思う。節水型はそうしていただいていると思うが、そういった選択の視点をはっきりさせた方がよいと思う。車椅子対応トイレだけ一体型大便器になっていて、一般トイレのパブリック向け大便器はどうして違うのか。

ユニ設備・鳶田

今回、給水方式が水道本管からの圧力による方式を採用しており、その圧力を考慮して衛生器具を選定している。

渡辺委員長

どちらも 1 階だが。

ユニ設備・鳶田

瞬時流量から一般トイレについてはタンク式を採用している。

渡辺委員長

もう少し使いやすさについて検討していただいた方がよいと思う

ユニ設備・畷田
渡辺委員長

。 使いやすさとはスイッチ洗浄ということか。
例えばそういうことだが、それだけではなくて、基本的に選定の際、子供や高齢者に使いやすくなっていて、それはこういう理由からというようにしていただきたい。

省エネや高齢者等への配慮から何種類か検討して、その中でこれが一番よくて、理由はこうですと言っていたのがよい。
そういった意味では、洗面カウンターについても、これを選ばれて悪いということではないが、どうしてこれを選ばれたのか分からない。最近はこういったカウンターでないものが多い。

ユニ設備・畷田
渡辺委員長
ユニ設備・畷田

アンダーカウンターにボールを落とし込んだものか。
みんなが使い易くしようとしている。

カウンタータイプだとどうしてもカウンター面が濡れてしまって、物を置くと濡れてしまうことが多い。清掃の頻度にもよると思うが、そういった点から独立式にしてバックにカウンターを設けている。

渡辺委員長

それは管理の思想であって、使う人を優先して考えてほしい。効率よくとか汚れなくて管理しやすいとか、そういう印象を受ける。汚されるというのはモラルの問題もあるが、今時の公共トイレは同じ問題を抱えながらカウンター式にしている。逆戻りさせるのはまずいと思う。ご検討をお願いしたい。

多田委員

資料を見ていると、ほとんどが電動式になっているが停電時のバックアップ電源は考えられているのか。

ユニ設備・畷田
多田委員
渡辺委員長
ユニ設備・畷田

男子トイレと女子トイレの大便器は手動である。
洗面カウンターのところは全部電動のようだが。
自動水栓になっている。

自動水栓の方が使い勝手がよく、節水にもなるということで採用していたが、ご指摘の点に関して検討したい。

多田委員
渡辺委員長

停電時の対策も考えられているのか。

どちらかになる。それを本来皆さんがここで議論する内容で、自動水栓は誰にでも使いやすいが、災害が起きた時には使いにくくなるし、災害はいつ起こるかわからないがその時に不便でもよいか、それとも災害時に配慮するか、どちらにするか意見を言っていたければそちらの方向に決まっていく。そういった意味で今の質問は重要である。少し考えていただいて、今すぐでなくてもどちらにすることも出来る。

平井委員

創作室は作業をする時にガスを使うこともあるのではないと思うが、ここにガスはきていないのか。

ユニ設備・畷田
渡辺委員長

ガスは生活室Bのみで、創作室は電気式の給湯を考えている。

具体的にどういったことにガスを使うのか。当然危険性についても考えられていると思うが、こういう理由でどうしても使いたいということがあれば議論して決めればよい。今の時点でここにガスを

	もってくることは難しいことではない。ただ、よほど強い理由でないと、なかなかもってきてはもらえないと思う。
平井委員	創作室は幅広く使われることを想定していたと思うので、いつも使うわけではないがガスがあったほうが便利だと思う。
渡辺委員長 浅野副委員長	浅野先生のご意見を伺いたい。 ここでいう創作室、所謂工作室には火と水が欠かせないと思う。例えば染物や七宝焼きといった活動も考えられる。
前川・橋本	必要であればつけることとするが、各テーブルに設置するとなるとテーブルが固定されてしまう。
平井委員 前川・橋本 渡辺委員長	各テーブルではなく、部屋のどこかにあればよいと思うが。実際に使うとなると、各テーブルにあった方が便利だと思う。そのあたりは市と協議していただいて、あまりヘビーにしようとする、逆にこの部屋が使いにくくなってしまう。 今のお話しは何かの時に、窓際にガス台があって、炙ったり出来ればよいのではないかという程度のことだと思う。
平井委員	これからの検討で皆さんからの要望が高ければもう少し多めに付けることも可能か。
渡辺委員長	まずはこの部屋にガスを供給する事が出来るようにしていただきたいということだと思う。
伊藤委員	前回、生活室のガス台を2台でよいと話したが、そうしないと調理するスペースがない。
前川・田中 伊藤委員	申し訳ないが、図面が修正できていなかった。 ガス台の下にオーブンレンジが付くようなお考えか。お菓子を作るのに必要で、その他に冷蔵庫と炊飯器用のコンセントが必要である。
ユニ設備・嘉部 伊藤委員 ユニ設備・嘉部	台下にはオーブンレンジを想定している。 調理台のところに電気釜が置けるようになっているのか。 これだけの個数をみておいて、その中で冷蔵庫、オーブンレンジ、炊飯器を割り当てていけばよいと考えている。
伊藤委員	先程の手洗いの件だが、障害者センターでは自動と手動式の二種類が設置されている。自動式は簡単で衛生的でもあるが、災害時に使いにくいところもあり、二種類あると便利だと思いながら使わせてもらっている。参考までに話しておきたい。
中村委員	資料23で1階の車椅子対応トイレの大便器だけが洗淨便座付となっていて、それ以外のところには洗淨便座の記載がなく、普通便座になっているが、このあたりのお考えを伺いたい。
前川・田中	1階の車椅子対応トイレと2階のだれでもトイレにウォシュレット（洗淨便座）が付いている。一般トイレについては将来対応として各ブースにコンセントを付けるということで市と打合せしている。
中村委員 前川・田中	それは経費の面でそうしているのか。 小金井市の方針とお聞きしている。

中 村 委 員	現在では日本の一般家庭でも普及しているので、普通便座というのは時代遅れのように思える。
渡 辺 委 員 長 大 関 公 民 館 長	市のご意見をお聞きしたい。 確認したところ、通常はこういったかたちでやっているが、要望に応じて対応する場合もあるので、皆さんのご意見をお聞きしたい。
渡 辺 委 員 長	多少コストは上がるが、今時値段的にもそれほどしない。市としては、この委員会で付けてほしいという話になれば、付けてもよいということなのか、そんなに簡単な話ではないのか。この施設に付けたからといって、非常に贅沢をしているという訳でもないと思うが。
福 島 委 員	便器が100個も200個もある訳ではないので、考え直していただければと思う。例えば旅行に行って、暖房便座でないと二度とあのホテルには行かないというようなこともあるくらいなので、数も少ないし、出来れば対応していただきたい。 もう一つトイレの話でお聞きしたいのはセンサーの件で、私自身もあまり好きではなく、多分お子さんは怖がるのではないかと思う。予め早めに点くようにすることは可能なのか。トイレのドアを開けた瞬間に点くのだろうと理解しているのだが。
ユニ設備・嘉部	センサーを付ける位置によるが、扉のすぐ内側にあれば入ってすぐに点くようになる。但し、電球の種類によって点滅の速度が違うため、LEDだと早いですが蛍光灯だと若干時間がかかる。
福 島 委 員	窓がないので昼間でも暗いと思う。開けた瞬間に点くというイメージだと思うが、もう少し早めに点く方法はないのか。 利用者が常時大勢で使う場合に、いちいち点いたり消えたりする必要があるのか。出てからどれくらいで消えるのか分からないが、場合によってはセンサーを付ける意味があまりないのではないか。例えば利用者が多い時間帯には点きっぱなしになるとか、或いは時間帯によって選択できるものなのか
ユニ設備・嘉部 福 島 委 員 渡 辺 委 員 長 福 島 委 員 ユニ設備・嘉部 渡 辺 委 員 長	センサーによっては時間設定が出来るようになっている。 お子さんが怖がらないように配慮していただきたい。 トイレの中ではなく、近づいたら点くようにしておけばよい。 開ける前から点いていれば怖くないと思う。 外に付ければよい。 私もこういったものを使っているが、リレーとかで30分にも出来る。
桂 委 員	女性委員が3人もいて、どうしてこうなったのかと後で市民から声が出そうな部分が先程のトイレの洗面カウンターで、女性が手を洗うときに一番困るのが荷物を置く場所である。たとえカウンターが濡れていても、自分で拭いてでも置きたい。女性の立場としてはカウンター式にして荷物が置けるようにしていただきたい。
渡 辺 委 員 長	まさに世の趨勢は女性によるところが大きいので、是非そういったものを採用してほしい。

2. 外構計画について

—資料 24 及び映像による説明—

(1) 敷地の形状（段差について）

- ・北一会館とエントランスアプローチの間に「設計 GL±0」を設定
- ・北一会館を含め、敷地全体としてはほぼ平らな形状
- ・南西道路の歩道面は敷地より低く、西側で-60センチ、中央部で-140センチ、東側で-120センチ

(2) 手摺り・柵の設置

- ・平面図、立面図、断面図共に、赤色ラインで表記している部分に手摺や柵を設置する
- ・敷地の段差より落ちないためや、スロープ、階段を登り降りするための手摺、読書テラスより敷地外に出ないようにする管理的な用途も兼ねている

●施設管理面より

- ・北側隣地境界は新設ネットフェンス（高さ 1.5メートル）と既存ブロック塀
- ・北一会館の周囲は既存の生垣
- ・東側道路境界は北一会館の既存ネットフェンス+新設ネットフェンス+生垣（車の出入り部は夜間の車両進入防止用に上下式ポール）
- ・南側のスロープ・階段はブックポスト利用のため夜間も出入り可能

●南西歩道側境界

- ・断面 C・D：1メートルの段差をスロープ(1/20 勾配)で、1.3メートルの段差を階段で登り下りする
- ・断面 D：建物入口扉付近は、歩道より 1.2メートル 高い位置にある歩道に落下しないように柵（高さ 1.1メートル）+手摺を設置する歩道側の植栽幅が狭い部分は高さ 1.1メートルの柵を設置
- ・断面 B：読書テラスのように歩道側に植栽幅が広くとれる部分は高さ 80センチの柵を設置
- ・歩道に面する高さ 60センチ~120センチの擁壁には、垂れ下がるような樹種を選定
- ・歩道からスロープと階段に入る部分に見通しを確保するために植栽の高さを低く抑えた部分をつくり、出入りする人と自転車等が接触しないよう工夫

渡辺委員長
前川・田中

お話しテラスの床仕上げは何を考えているか。
ウッドデッキで考えていて、図書館の床とフラットで出入りできる
ようにする。

渡辺委員長
前川・田中
平井委員

植栽は何を考えているのか。
次回の検討委員会で提示する予定である。
西の窓に向けて座席を作った図書館で、窓向きの座席では本が読めないとか、本が焼けてしまうという話を聞く。前回の検討委員会の図面では閲覧コーナーの西面が壁になっていたが、この図面では壁がなくなっている。

前川・田中
平井委員 図面が食い違っていて申し訳ないが、前回示した通り壁がつく。まだ西面に窓が多いように思うが、このあたりは変えられないのか。

前川・田中 西日対策としては前回の検討委員会でも説明した通り、庇を深くしたり一部に壁を設けたりすることで考えている。

渡辺委員長 南側立面図がきちんと書かれていないのか。

前川・田中 南側立面図で薄く水色に着色されている部分が窓にあたる。

渡辺委員長 今議論になっている図書室部分のどこがガラスでどこが壁か分かりにくい。

前川・田中 この立面図は真南から見ているので、ガラス面は全く見えない。

—映像による西側立面の説明—

前川・田中 真西からの立面がこちらで、窓がどのように並んでいるかが分かる。

前川・田中 先程話に出ていた、一部壁にした部分が一番左側にあたる。天井際で明かり採りの窓を設けている。

渡辺委員長 天井際だけではなく両脇にもあるが。

前川・田中 両脇については閲覧机のない部分に設けている。

渡辺委員長 よくやることだが冬至、夏至、春分、秋分で日射がどこまで入ってくるかシミュレーションしてほしい。

前川・田中 その図面は作成してある。

渡辺委員長 それを見せていただいて、だからこうしているというのを設計者からきちんと説明していただかないと、私もまだ窓が多いように思う。場所によって庇の深い部分と浅い部分があるので、配慮してやっていただければ構わないが、きちんと証明していただかないと、皆さんこの部分については納得していただけないと思う。実際に使い始めて問題が起きたら面倒な話になるので、次回にきちんと説明をお願いしたい。

平井委員 お話の部屋が全面床までガラスになっているが。

前川・田中 ガラスの下に本棚が廻るので、立面図が間違っている。腰から上がガラスになる。

平井委員 子供が作ったものを貼ったりするので壁も必要である。

前川・田中 実際には多角形ではあるが円形にちかいので、すべてガラス面だと音響的に問題がある。掲示壁も兼ねて吸音の壁を設けることで検討している。

平井委員 全部ガラスだと落ち着かなくなってしまうので壁をつくってもらえるとありがたい。

渡辺委員長 その他にお気づきの点があったらお願いしたい。

—映像による説明—

(3) 屋上緑化

・面積的には、基本設計通りの範囲（巾 1.5 メートル×60 メートル）

- ・地上からも見えるよう上に伸びる樹種と下に垂れ下がる樹種を選定する
- ・参考写真：ヒノキ科フィリフェオーレア、ハイビヤクシン
- ・太陽光発電パネルも基本設計の予定通り 20kw を配置

3. その他（ガラス建具、飲食コーナー他）前回の質問事項等について

—資料 25 及び映像による説明—

(1) 1 階平面の変更調整部位

(資料 25：1 階平面図)

- ・読書テラス、ロビーの歩道側に連立していた構造丸柱が 2F を含め一つおき（半分）に
- ・飲食コーナーは別図にて、倉庫面積を確保するため、中央階段の下部を倉庫に
- ・図書室の書架配置・家具のイメージ

渡辺委員長 書架の高さを教えてほしい。

前川・田中 一般開架が 1.9 メートル、児童開架が 1.3 メートルで書いている。

(2) 2 階平面の変更調整部位

(資料 25：2 階平面図)

- ・構造丸柱が半分に減った
- ・フリースペースの道路側の建具は全面ガラスであったが、丸柱が減った部位に展示用の壁面を設ける（学習室関係の壁の大半が可動式であり、固定的な展示スペースが必要であろう）
- ・壁面には吸音効果も期待できる材料を選定。

(3) 遮音と省エネ

- ・前回、外部騒音・上下階・近隣に対しての室内環境（騒音）の目標値設定の説明をした
- ・現状道路騒音測定(歩道で 3 箇所)により、NC35~40 の数値を目標としている
- ・交差点側に面する建具のガラスについて、遮音性能と省エネ性能を確保する
- ・遮音性能、断熱性能、強度、コストを検討の結果
 前回：遮音性能が確保できる t8 ミリ単板と比較検討し
 今回：ペアガラス t5 ミリ+空気層 6 ミリ+t6 ミリのガラス（ペアガラス）をメインに選定
- ・2 階床スラブの厚さを 15 センチから 20 センチに変更

(4) 1 階飲食コーナーのレイアウト（案）

- ・設計段階では、運営者が未定（但し、市の方針として自販機は設置しない）
- ・運営時間未定、ロビーと区分できるようガラス折れ戸を設置
- ・厨房面積が狭いため、奥の倉庫を縮小し（トイレ側より利用する掃除シンクを配置）、ロビー階段下部を倉庫として利用
- ・客席は 8 名程度
- ・厨房機器はレンジ、給湯共に電気式
- ・3 メートル×3.5 メートル程度の広さ且つ電気式でも十分な換気設備は設ける

・電気調理器の仕様については市と協議する

松尾委員 飲食コーナーと女子便所は壁一枚で隣り合わせだが、女性の方が音を気になさるのではないかと思うが、伝わってこないのか。

前川・田中 ここだけでなく2階のトイレもすべてそうになっているが、コンクリートの壁ではないが、ボードの厚みとロックウールを充填することで遮音性を確保するように考えている。

渡辺委員長 コンクリートの壁にしてはまずいのか。

前川・田中 遮音的に配慮しなければならないところはコンクリートの壁にしている。

渡辺委員長 この部分も遮音的に配慮すべきところではないか。飲食コーナーを使われている方もトイレを使われている方も、お互いに不愉快だと思う。

渡辺委員長 一番遮音がとれるのはコンクリートの壁なので、構造事務所と相談していただきたい。乾式もあり得ると思うが、両方で水を使うので将来トラブルが起きると面倒である。

掃除用流しも飲食コーナーの方にはみ出してこないほうがよいと思う。何とかトイレ側に押し込めないものか。こちら側にきているのでキッチンが非常に使いにくくなっている。掃除用流しがあればわりと矩形になるので、後でレイアウトも色々考えられる。今はそれによってレイアウトがほとんど決まってしまう。

折角倉庫から厨房にさせていただいたのは進歩だと思うので、トイレが広くないことも重々分かるが、何とか工夫していただいて、よい厨房にしてほしい。

伊藤委員 広くとっていただいてありがたい。周りからは一種類ではなくて二種類作りたいという意見も出ている。電磁調理器でも、とにかく作ればよいという意見であったので了解した。

厨房の外側にレジ台を置きたいので、コンセントを手洗い器の近くに追加してほしい。

前川・田中 そのあたりは配慮する。

藤井委員 公民館部分のスタジオについてはコンセントが三つだけで、あとはテーブル等もなしということではどうか。高校生が練習する時には、自分で楽器類を持ってくるという発想で宜しいか。

前川・田中 他の館を拝見すると、重いドラムセットやアンプのようなものは館で用意してあげることになるのではないか。

渡辺委員長 市の方でもそろそろ方針を示していただいた方がよいのではないか。

藤井委員 貸しスタジオであれば中には何も無いという考え方が一つと、詳しいことは分からないが、音楽に特化するのであれば最低限必要なものを用意するという考え方もある。

渡辺委員長 隣が楽器庫になっているので、楽器について市の方で提案があれば分かりやすい。

前川・田中 どこまで用意するかという話はあるが、奥の小さい部屋が楽器を置くスペースとして確保してある。

藤井委員 最低限のものはあると理解して宜しいのか。

渡辺委員長 通常、今の話にも出たように運びにくいドラムや重いアンプは用意して、エレキギターは自分で持ってくるというように、そのあたりは今後どうしていくか取り決めが必要である。

渡辺委員長 時間を過ぎているので、次回の開催日程について事務局からお願いしたい。

4. 次回の日程について

山崎庶務係長 次回第5回目は、実施設計のまとめのような位置づけになると思う。前川建築事務所の方々には細部の確認等かなりの準備をお願いすることになり、事務局との調整も必要となるため、少しお時間をいただき、12月11日（日）午前10時からこの会議室にて開催の予定とする。暮れのお忙しい時期に恐縮だが、よろしくお願いたしたい。

渡辺委員長 次回がまとめということになるので、前川事務所も何回もお付き合いいただいて大変だと思うが、もう一回宜しくお願いたしたい。本日の検討委員会はこれにて終了する。長時間お疲れ様でした。

会議終了後、伊藤委員から飲食コーナーについて必要な機器（コンセント）についての話があった。

想定される機器：オープンレンジ、冷蔵庫、コーヒーメーカー、電気ポット、炊飯器

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設実施設計
市民検討委員会 (第4回) 次第

日 時：平成23年10月27日(木)
午後7時～
場 所：市役所第二庁舎8階
801会議室

- 1 設備計画について
 - ア 電気設備 (照明、コンセント設備他) について
 - イ 機械設備 (空調・換気、給排水衛生設備) について
 - ウ 昇降機設備について

- 2 外構計画 (緑化計画、施設管理他) について

- 3 その他 (ガラス建具、飲食コーナー他) 前回の質問事項等について

- 4 次回の開催日程について

- 5 配付資料
 - (1) 「本町・貫井北町地域に読書の楽しさを紹介する会」からの要望
…実施設計検討委員会資料 17
 - (2) 照明設備 各階平面図
…実施設計検討委員会資料 18
 - (3) コンセント設備 各階平面図
…実施設計検討委員会資料 19
 - (4) 音響・映像・事務所廻り機器図
…実施設計検討委員会資料 20
 - (5) 空調調和換気設備 各階平面図
…実施設計検討委員会資料 21
 - (6) 給湯設備 各階平面図
…実施設計検討委員会資料 22
 - (7) 衛生器具一覧表 (案)
…実施設計検討委員会資料 23
 - (8) 外構平面図・断面図・立面図
…実施設計検討委員会資料 24
 - (9) 各階平面図
…実施設計検討委員会資料 25



小金井市立図書館

館長 田中 肇 さま

(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会

委員長 渡辺 真理 さま

委員のみなさま



拝啓 このたびは(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員会にて、建設に向けた活発な議論をしていただきまして、ありがとうございます。また、委員のみなさまにおかれましては、専門性を生かした情報提供と話し合いをしていただきましてありがとうございます。私ども貫井北町および近隣の住民は、委員会開設以来のみなさまのご尽力に対し、心より感謝申し上げます。

私ども貫井北町および近隣の住民にとって、小金井市西部地区に建設される公共施設は、楽しみであり、希望で励みます。また、園児、児童および生徒の保護者にとりましては、教育環境の向上とともに、子どもの社会参加の機会、地域社会との連携という点で、センターの建設とその後の運営については非常に大きな期待と関心をもっているところでございます。実際に、ホームページや小金井市の広報誌にて議事録や概要が発表されるにつれ、地域や保護者の中での話題に上ることが多くなってまいりました。

そこで、私たち園児、児童および生徒の保護者は、小金井市立図書館長、(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設市民検討委員長と委員のみなさまに、私どもの期待と関心をお伝えするべきではないかと考え至りました。なぜならば、今回の委員会は要綱によって13人の委員で構成されておりますが、委員会の設置趣旨が市民参加のもとに検討、および協議するものであるからです。また、このように委員会が開催されましたことは、私どもにとって、育児、教育の将来性、地域との具体的なかかわりを考え、市政と図書館運営、地域連携を身近に感じるきっかけとなりました。地域住民としての責任と義務とを、改めて認識し、感じる次第です。

つきましては、私どもがみなさまにお伝えしたい要望について別紙にまとめましたので、田中館長、渡辺委員長、および委員のみなさまのなかで共有していただき、広くご理解と、センター建設に向けた話し合いや実施設計に反映していただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬 具

平成23年10月20日



本町・貫井北町地域に読書の楽しさを紹介する会
[Redacted Name] 他

[連絡先] [Redacted Contact Info]

(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設に関する私たちの願い(要望)

- 1、地域の保護者は、(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設と貫井北町に図書館が建設されることに対し、大きな期待と関心を持って推移を見守っています。
- 2、未就園児を安心して連れて行ける図書館の実現のため、子どものコーナーとブラウジングコーナーとが良好な両立を保てるような設計と運営を考えてください。

図書館は家庭で育児を担うお母さんの気分転換、リフレッシュの場であるとともに、地域社会へ参加するスタートの場です。国の子育て支援の根幹となる『子ども・子育て新システム』では、「社会全体で子ども・子育てを支援する」とあります。子どもの利用マナーの啓発とともに、地域を構成する一員に対するおたがいさまの気持ち、寛容なるご理解と温かい見守りが設計と運営に盛り込まれますよう、お願いいたします。

- 3、団体貸出や教科補助など、図書館と学校との連携を積極的に実施してください。

家庭の近くでの団体貸出では、図書を選択作業に多くの保護者が参加でき、多様な視点を生かして子どもたちの読書への関心を高める効果が期待できます。現在、小金井市では、学校図書館の蔵書数・司書の配置は十分とはいえず、一学期に一回の団体貸出の利用件数は増加しています。

また、学校教員の要望に応じて調べ学習用の資料を提供するサービス(教科補助)は、実際にはあまり活用されていません。理由は、資料の配送がない、多忙な教員が資料を受け取りに本館まで出向く時間がないためです。学校区の近くで利用できれば、距離や時間の問題が解消され、教科補助の利用促進が期待されます。情報化社会の今だからこそ、情報の判断と選択の元となる良質な資料が必要です。

『新学習指導要領解説』には、「学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと」と明記されています。

- 4、中学生・高校生向けの図書を増やしてください。

この世代の読書離れと居場所の不在は指摘されて久しく、人の目が多い地域センターへの期待を高めています。『第二次小金井市子ども読書活動推進計画』においては、「中・高校生(ヤングアダルト)向けコーナーの充実…中・高校生の読書離れの解消を図るため、Y・A コーナーを充実し、また、テーマ本、読書案内等による啓発を進めます」とあります。

- 5、読書活動にかかわるボランティアとの協働を想定した設計と運営を考えてください。

小金井市内では、地域の子どもたちのために永年にわたり活躍している経験豊富な文庫や、幼稚園・小学校で読み聞かせをしている団体があります。『のびゆく子どもプラン小金井(小金井市次世代育成支援行動計画)』には、「図書館ボランティアとの協働」が明記されており、このような団体への激励と後押しと受け止めています。現在の設計案でも読み聞かせスペースが配置されていますが、加えて、子どもたちの本離れ改善に大変効果が出ている「音や動きのあるお話会」や「季節のイベント」等を実施できるよう、エントランスロビーに、年に数回程度の適時、可動式のパーテーションや置き畳を活用して靴を脱いで集会できる場所の設置を希望いたします。図書館内と連続性があるものの、図書館内で読書する利用者の妨げとならない設計が好ましいと考えています。また、協働、協力して子どもたちと本を結ぶ役割を十分に担うための打合わせや準備が、書架や事務室と隣接した場所で行えるよう、設計と運営を考えてください。

以上



本町・貫井北町地域に読書の楽しさを紹介する会
他

[連絡先]